

見逃さない！聴き逃さない！利用者さんの言葉にはヒントがたくさん！

脳出血による重度の左片麻痺をもつ、
40代女性のAさん
ある日、看護師へこんなことを話してくれました

退院したら、ヒールを履きたいの♪

ヒールもなにも、今は歩けないのに！？
Aさん、自分の障害のこと、わかってないのかな？
難しいですよって、言ってあげたほうが親切？

ここは、スルーしておくのが無難かな…

これで終わるのはもったいない！
支援への手がかりが隠れているかも

【ストレングスモデル】の紹介

当事者の「ストレングス=強み」に焦点を当て、それを生かして支援を組み立てていくもの。これまで医療における支援といえば、問題解決モデル(本人の問題に焦点を当て、それを解決するために計画を立て、実践する)が中心でした。

看護師は、どちらの視点も持つことが大切です！

◇当事者との対話により、当事者を知る「問題を持った当事者」と一括りにするためだけでなく、どんなふう生きてきて、どんなふう生きようと思っているのかということを一歩として、本人が病気や障害とどう向き合っているのかという情報を得ることが、支援の出発点です。
◇Aさんは、なぜ、ヒールを履きたいと話してくれたのでしょうか？

CNSの介入

- ・ヒールについて熱く語ってもらおう→Aさんにとって、ヒールを履くことの意味は？ おしゃれ？ 姿勢がキレイに見える？ おでかけが好き？ 仕事で履く必要がある？
- ・実際に履いてみる→PTと協働し、ヒールを履いて歩けるようになるためのリハビリメニューと一緒に考える。何センチの高さなら歩けそう？ 歩きやすいデザインのものはあるかな？ 一緒にネットで探す。
- ・夢をかなえるための身体づくり→ヒールを履いて、おしゃれをして、友人と月に1回カフェでランチをするのが趣味であり楽しみ、らしい。それをかなえるための健康な身体づくりを支援！ Aさんの言葉をきっかけに、血圧や内服、身体に良いメニューの選び方など、健康管理について話をする。

お困りのことがありましたら、高木(3AB 内線393)までご連絡ください。

皮膚・排泄ケア(WOC)分野:こんな時どうする？

皮膚トラブル。
ケアで改善することもあります。
ご相談ください！

傷の部位とサイズ、滲出液や出血、深さや創周囲の皮膚はどんな状態か分かりますか？ ちなみにいつできた創でしょうか？ 失禁はありますか？

仙骨部に傷がある！ 滲出液や出血はないみたい。感覚鈍麻があるから、痛みがなく、いつできたか、わからないって言っているけど。昨日の看護記録には、皮膚トラブルの記載はなかったな。こんな時どんなケアをすればいいのだろう？ WOCに相談しよう！



創自体は浅く、滲出液や出血がない状態ですね。創治癒を図るには、適度な湿潤環境が必要です。そのため、外用薬が被覆材を使用します。殿裂部に近いと摩擦やずれで剥がれ易く、また汚染し易いです。写真を見ると、殿裂部まで距離があるので、被覆材を選択するなら、ハイドロコロイドを用品です。しかし、保険適応外なので注意が必要です。外用薬であれば、白色ワセリン、酸化亜鉛、ジメチルイソプロピルアズレンが推奨されます。

仙骨部で、1cm程の表皮剥離です。滲出液や出血は、おむつに付着は無く、創周囲の皮膚は、乾燥や浸軟は無いです。昨日まで、皮膚トラブルの記録はなかったです。便失禁はめったになく、便性も摘便し易い少し硬めです。

WOC

トイレ移乗時や処置の際に問題がないか、確認する必要がありますね。理学・作業療法士と連携し、トイレ環境や移乗、処置時の動作と一緒に確認し、評価してください。

傷の深さや滲出液の量や部位によって、全体的な評価をして、被覆材か外用薬を選択していきましょう！ そういえば、今日からトイレでの処置が始まりました。

専門看護師(CNS)
認定看護師(CN)
特定看護師便り

2月号

担当者

高木 真希
慢性疾患看護
専門看護師

江原 三有紀
皮膚・排泄ケア
認定看護師

発行元：千葉リハビリテーションセンター看護局
CNS/CN特定看護師会議